



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I -5. 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586005702	科目番号	05860057
授業科目名	●現代経済と企業活動 I (企業の仕組みと行動)		
編集担当教員	後藤 祐一		
授業担当教員名(科目責任者)	後藤 祐一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	後藤 祐一		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟5		
対象学生(クラス等)	教育学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	yuichi-g@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	東南アジア研究所314		
担当教員TEL	095-820-6381		
担当教員オフィスアワー	金曜日13:00-14:00。その他の時間を希望する場合は、アポイントを取って下さい。		
授業のねらい	日常生活を営む上で関わっている企業の行動について、身近な事例などを取り入れながら、組織の行動に関する基本的な知識の習得をする。		
授業方法(学習指導法)	講義形式。必要に応じて、ビデオやDVDなどの映像資料を用いる。		
授業到達目標	企業の行動について、さまざまな視点から検討できるようになること。		
授業内容	現時点で予定している内容は下記のとおりである。変更がある場合は、初回の講義時に説明する。 第1回: イントロダクション 第2回: マーケティング・ミックス 第3回: セグメンテーション 第4回: 製品ライフサイクル 第5回: 業界構造の分析 第6回: 3つの基本戦略① 第7回: 3つの基本戦略② 第8回: 企業の分類 第9回: 会社の仕組み 第10回: 組織の設計① 第11回: 組織の設計② 第12回: 組織文化 第13回: モチベーション 第14回: リーダーシップ 第15回: 日本的経営 第16回: 全体のまとめ(期末試験を含む)		
キーワード	行動, 戦略, 意思決定		
教科書・教材・参考書	教科書は指定しない。参考文献などは、講義中に紹介する。		
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%), 期末試験(40%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I -5. 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586005302	科目番号	05860053
授業科目名	●現代経済と企業活動 I (経済活動と社会)		
編集担当教員	高木 かおる		
授業担当教員名(科目責任者)	高木 かおる		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高木 かおる		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟5		
対象学生(クラス等)	教育学部,薬学部,水産学部		
担当教員Eメールアドレス	takaki-k の後に @nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	片淵キャンパス(経済学部)東南アジア研究所213		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	各授業校時後の休憩時間		
授業のねらい	経済活動や豊かさを測る指標とそれらの課題について学び、豊かさとは何か、われわれはなぜ豊かでなくてはならないのか、豊かさを手に入れるために何をすべきかなどについて考える。		
授業方法(学習指導法)	講義とグループ学習を組み合わせる。グループ学習では、いろいろなテーマについて、個別に調べた内容をグループ内でディスカッションしたり、それらをまとめて発表したりする。講義及びグループ学習共通に、学習の成果をその都度レポートとして提出する。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・GDPなどの経済活動を測る基本概念や指標とそれらの課題を説明できる。 ・豊かさとは何かについて自分の考えを説明できる。 		
授業内容	<p>前半は講義を中心に行う。後半はグループ学習により自ら調べ考える時間を多くとる。</p> <p>授業計画(変更がある場合は、講義時に説明する。)</p> <p>第1回 インTRODakクシヨン、GDPを調べよう</p> <p>第2~4回 経済活動を測る指標：GDP、経済成長、効用など</p> <p>第5~6回 GDPを説明しよう</p> <p>第7~9回 豊かな国を調べよう</p> <p>第10~12回 豊かさを測る指標を調べよう</p> <p>第13~15回 豊かさを測る指標を作ろう</p> <p>第16回 総括・期末試験</p>		
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業中の提出物やレポート、グループ学習への貢献度、グループ発表のプレゼンテーション(50%)、期末試験(50%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)	・自学自習支援のためWebClassを使用する。利用には長大IDが必要である。(第1回の授業にあらためて説明する。)		





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I -5. 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586006102	科目番号	05860061
授業科目名	●現代経済と企業活動 I (経済政策と公共部門)		
編集担当教員	島田 章		
授業担当教員名(科目責任者)	島田 章		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島田 章		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟5		
対象学生(クラス等)	教育学部,薬学部,水産学部		
担当教員Eメールアドレス	shimada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館5階		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	各授業時間後の休憩時間		
授業のねらい	財政経済や金融政策とはどのような政策かを知る。		
授業方法(学習指導法)	教科書の内容を中心にした講義をおこなう。		
授業到達目標	財政政策や金融政策とはどのような政策かを知る。		
授業内容	第1回 講義計画の概要と補足説明 イン트로ダクション(1) 第2回 イン트로ダクション(2) 第3回 イン트로ダクション(3) 第4回 イン트로ダクション(4) 第5回 イン트로ダクション(5) 第6回 財政政策(1) 第7回 財政政策(2) 第8回 財政政策(3) 第9回 財政政策(4) 第10回 財政政策(5) 第11回 金融政策(1) 第12回 金融政策(2) 第13回 金融政策(3) 第14回 金融政策(4) 第15回 金融政策(5) 第16回 総括(期末試験を含む)		
キーワード	財政政策, 金融政策		
教科書・教材・参考書	山崎好裕[著]『目からウロコの経済学』入門(ミネルヴァ書房, 2004年)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標	財政政策や金融政策とはどのような何かを知る。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	連絡が必要な場合は、メールをつかってください。メールを送る場合は、かならず件名に「平成24年度モジュール I 経済政策と公共部門受講者の誰々(送信者名)で件名は何々(例えば何々についての質問)」のように書いてください。		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.